

センターニュース No. 587

1. 汎用計算機システムの入れ換えについて

センターニュース No.585 でお知らせした通り、2000年1月に汎用計算機システムが更新されます。更新にともない、kyu-cc (M-1800/20U の UNIX システム) の OS が 2000年1月4日より UXP/M から Solaris 7 に変更されます。以下は「新kyu-cc」のおもな注意点です:

- ホスト名は同じ kyu-cc です。 UXP/M と Solaris 7 はともに UNIX SVR4 互換 OS のため、使い方はほとんど変わりません。
- 利用者のファイルは新 kyu-cc にそのまま移行されます。
- Fortran, C, TeX のソースプログラムなどはそのまま UNIX サーバーで利用できます。従来のアプリケーションに加えて、自動並列化機能を持つ Fortran 95コンパイラ, MPI, OpenMP, NAG, IMSL などの最新の数値計算環境を提供します。
- Fortran の書式なし WRITE 文で作成したバイナリデータは、オプションの指定によって読み込み可能です。
- ライブラリ・サーバー wisdom のアプリケーションはほとんどが新 kyu-cc で継続して利用できます。

M-1800/20U の MSPシステム (ホスト名 kyu-msp)については、新汎用計算機システムと2000年3月まで並行運用し、2000年4月以降 UNIX への一本化を計画しています。MSP データの移行に間する記事を <http://www.cc.kyushu-u.ac.jp/scp/system/library/MSP/MSP.html> に作成しました。MSP 資産をお持ちの方は UNIX システムでの早めの動作確認、移行をお願いします。

なお、スーパーコンピュータ VPP700/56 の利用方法は従来と同じです。新汎用計算機システムの具体的な利用方法は今後のセンターニュース、広報、ホームページで随時お知らせします。

(システム運用室 ダイヤルイン 092-642-2306)

e-mail:s-room@cc.kyushu-u.ac.jp